アナリスト・機関投資家アンケート調査結果 【抜粋】

＜2012年12月実施＞

NOMURA

経営企画推進グループ

野村インベスター・リレーションズ株式会社

2013年2月

STRICTLY PRIVATE AND CONFIDENTIAL

© Nomura

調査概要

調査の目的	① 野村IRのサービスに対する意見収集 ② 企業のIR活動に対する意見の収集 上記2つのテーマについて情報受領者側の意見を収集し、今後の「アナリスト・機関投資家へのサービス」及び「顧客企業へのサービス」 双方の質的向上を活かすことを目的とする
調査対象	野村IRリスト 登録者 ： 2,259人
調査期間	2012年12月 5日（水） ～ 2012年12月19日（水） まで
調査方法	Webアンケート
有効回答総数及び回答率	有効回答総数 ： 128 件 ／ 送付件数に対する回答率 ： 5.7%

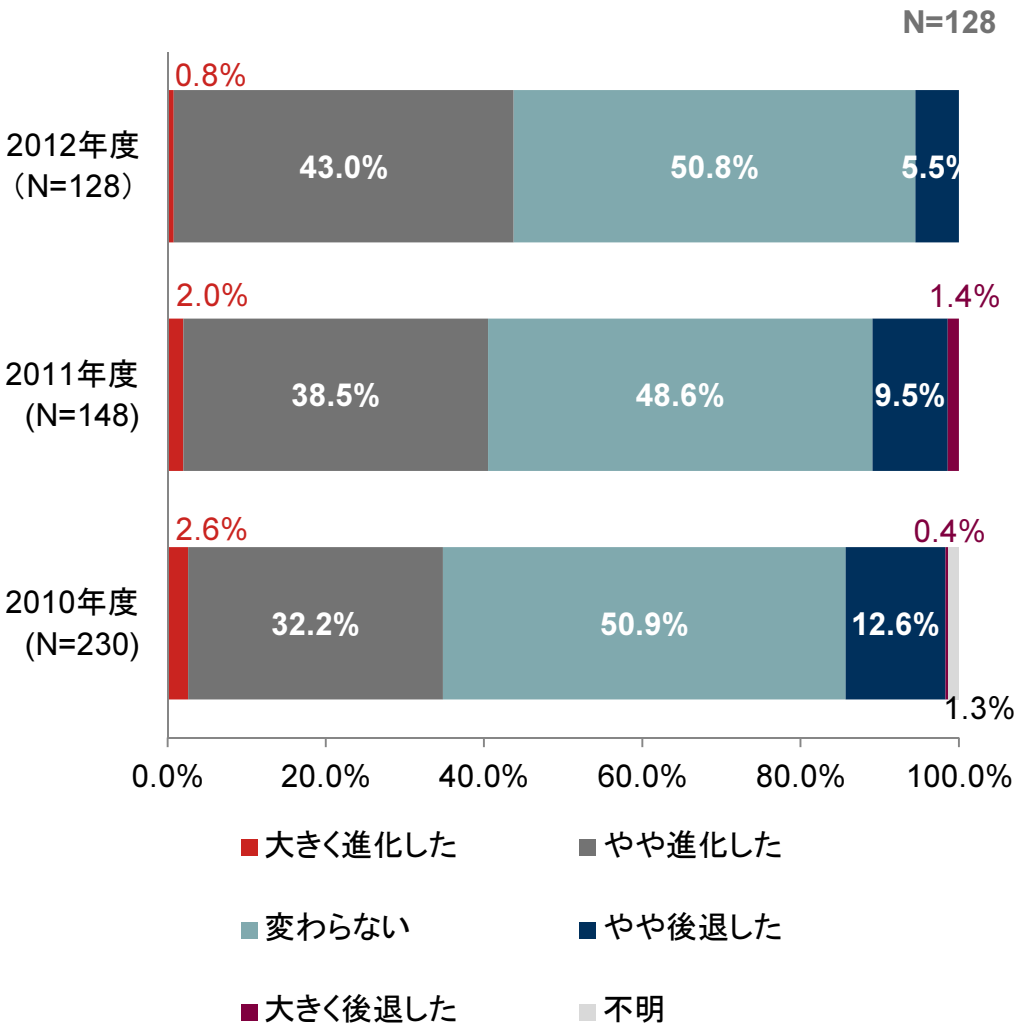
調査報告書 目次

- ●調査概要及び回答者属性
- ●企業のIR活動の変化と、それに対する評価
- ●企業の情報発信内容・手段について（ラージミーティングを中心に）
- ●企業の情報発信内容・手段について（Web関連を中心に）
- ●企業分析・銘柄選定に関する考え方 全34頁

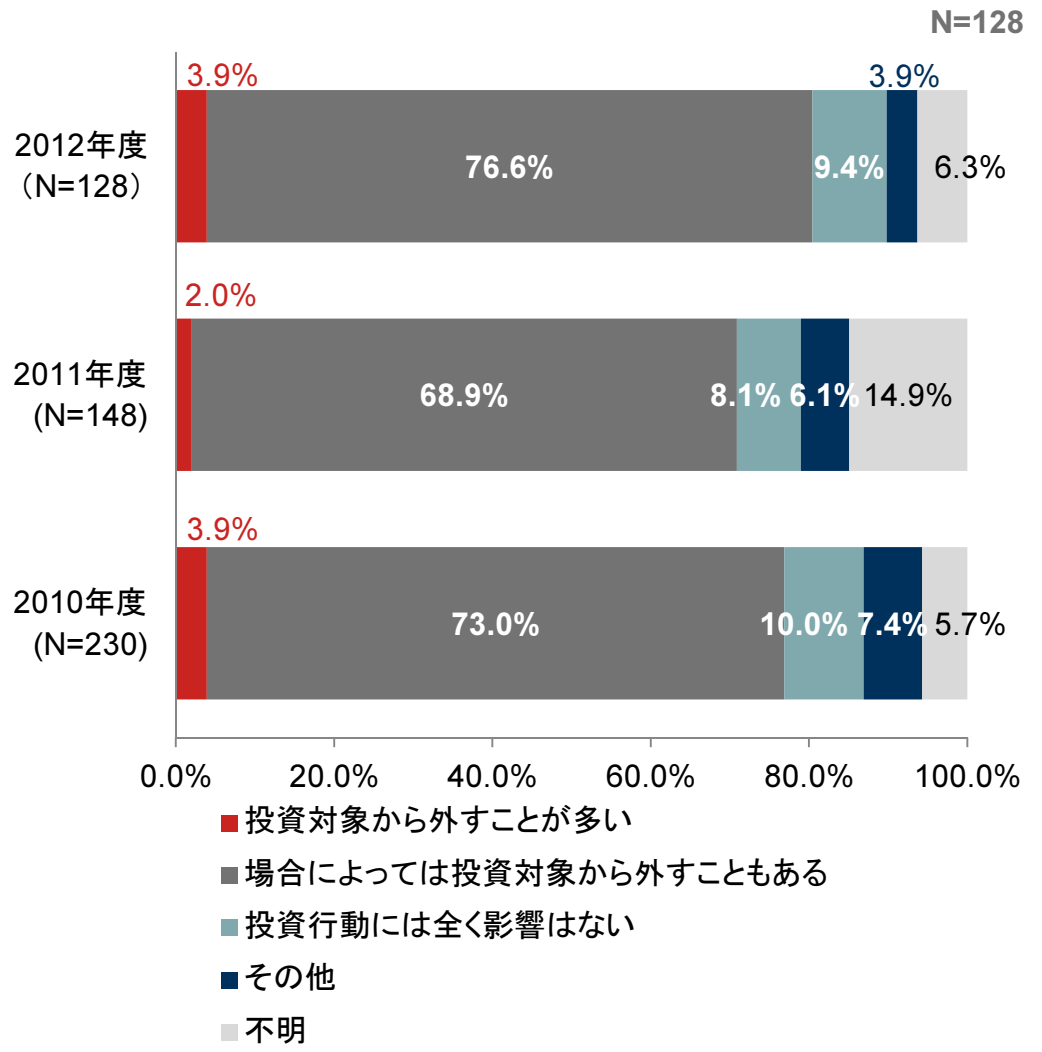
本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

企業のIR活動の変化と投資評価

この1年間で企業側のIR活動に変化を感じましたか？



IR活動が「後退した」と感じた場合、投資行動に変化はありますか？



本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。